

国際化学肥料ニュース（2010年8月）

肥料業界の2010年8月動態

* 世界の尿素生産能力と生産量、国際貿易量の概要（IFAの発表による）

21世紀に入ってから尿素生産重心がヨーロッパとアメリカからアジアに移してきた。2009年世界の尿素生産能力は1.708億トン、生産量1.517億トン、中国、インド、西アジアが合わせて8820.76万トンの尿素を生産し、世界尿素総生産量の71%を占めた。特に中国が世界最大の尿素生産国として、5706.65万トン生産した。なお、2010年世界の尿素生産能力が新たに800万トン増加し、1.788億トンになり、生産量は1.652億トンに達すると予測される。一方、世界の尿素需要量は2009年が1.48億トン、2008年より1.2%増加し、2010年は1.564億トン、2009年より5.7%増加すると予測される。過剰量は2008年が540万トン、2009年が1050万トン、2010年が890万トンと予測。

中国では、2009年に尿素生産能力が約500万トン新たに増加し、生産能力が6400万トンに達したが、生産量は5707万トン、消費量は5365万トンであった。

尿素的国際貿易量は2009年が3400万トンに達し、2008年より2.9%増加した。

主な輸出地域は西アジアとロシアで、その輸出量が生産量に占める比率はそれぞれ96%、82%であった。ロシアは2009年に500万トンを生産し、世界最大の輸出国になった。また、2010年にEurochem社が33万トンの新生産設備を稼働させることにより、ロシアの総生産能力が660万トンに達し、輸出量も500万トンを超えると予測。オマーンはSIUCI社が2009年に110万トンの設備を稼働し、全量輸出に供する。サウジアラビアは2010年に350万トン、カタールも300万トンの輸出量が見込まれている。インドネシアは尿素生産量が3年連続増加し、輸出量が50%も増えた。

一方、主な輸入国はインドとアメリカで、世界輸入量の約30%を占めている。また、バングラデシュ、パキスタン、タイ、ベトナム、メキシコの輸入量も増加した。

アメリカは2009年に430万トンを入力し、今年も同量またはそれ以上の量を入力する。インドは2009年国内生産量が2090万トンであったが、輸入量が530万トン。2010年も同様の輸入量が見込まれている。パキスタンは2009年に130万トン超を入力したが、2010年末に新工場が稼働することにより生産能力が630万トンに増加し、国内自給となる可能性が大きい。ベトナムは2009年国内生産量が90万トン、輸入量が110万トン、2010年もほぼ同様であるが、2015年以降が自給できると推測される。

* 2010年7月21日、中国窒素肥料工業協会は常任理事会を開き、中国の窒素肥料産業構造調整計画について論議した。計画ではエネルギーと環境保全のため、過剰の生産能力を削減し、2015年までに中国の窒素肥料会社は394社から250社に減らし、20の大型グループを再編すべきと提案した。専門家は将来の3～5年間に天然ガスを原料とする尿素生産設備がすべて廃棄か石炭を原料にするように改修し、尿素の新規生産設備は新疆、内

モンゴル等石炭地域に集中させ、揚子江より南にある尿素工場は基本的に閉鎖され、需要は輸入に依存すると予測する。

* 8月に入ってから肥料の国際価格が急騰した。8月最初の2週間だけで尿素は30~40ドル/トン、DAPも20~35ドル/トン値上げされた。その原因は

1. 天候不順で、国際市場での食糧価格が急上昇で、農家が高収入を見込んで、肥料の使用量が増えるとの観測。
2. 尿素輸出国のウクライナが8月1日からロシアから輸入天然ガスの価格を9%値上げ、尿素生産コストが上昇した。
3. インドの尿素輸入入札が平年より早く実施した。
4. アメリカのDAP需要が旺盛で、在庫がこの5年間最低となった。

* オーストラリアのシドニー新聞に、ベラルーシBPC社は9月から塩化加里のFOB価格を375ドル/トンから420ドル/トンに値上げ、最終的に450ドル/トンを目標とする記事が掲載された。

* インド政府は肥料生産を増やすため、停止した尿素生産設備を再開するために特別委員会(ECOS)を立ち上げた。当該委員会はインドの肥料会社FCIL社の5ヶ所及びHFCL社の3ヶ所の生産設備の再開を検討している。また、オマーンとの合弁会社(OMIFCO)の生産量と輸入量を増やし、2009~2010年度に206万トン尿素を輸入する。

また、インドでは肥料補助金が大きな財政負担になることが明らかになった。2008~2009年度インド政府は肥料業界と農家に計31億ドルの補助金を支払って、政府補助金総額の6.3%に当る。その負担を減らすため、2010年4月1日から実施した「肥料養分により補助金制度」により、補助金が17.5億ドルに減らされ、政府補助金総額の3.22%に相当する。一方、政府がその補助金が確実に農家の手に入るため、農家に実名制の磁気カードを発行し、肥料の購入量と使用量を追跡し、それに合わせて農家に補助金を直接支払う計画を立てている。

大手各社の営業業績

8月の大口契約と輸出：

りん酸系肥料

* チュニジアGCT社はFOB475~477ドル/トンの価格でフランス・イタリア・スペインに2.5~3万トンDAPを輸出した。7~9月に33万トンDAPを生産する計画であるが、すでにトルコ等との輸出契約を締結し、在庫が殆どないようである。また、重過石も在庫なしとの情報。

- * モロッコ OCP 社は 8 月に中国に 1 船の DAP を輸出した。
- * アメリカは DAP と MAP が不足している。Aqrifos 社は FOB496 ドル/トンの価格でラテンアメリカに 4000~5000 トン DAP を輸出したが、該社は来年第 1 四半期に DAP と MAP の生産を停止する。Mosaic 社と CF 社は 8 月生産分がすでに完売、9~12 月生産分も殆ど契約した。Miss Phos 社はまだ少量の在庫がある。その不足分を補うため、モロッコ OCP 社は FOB480 ドル/トンの価格でアメリカカーギル社との間に DAP4 万トンと MAP（価格不明）の輸出契約を締結した。
- * インドでは中国から CFR477 ドル/トンで DAP1 船を輸入した。Zuari 社は CFR477 ドル/トンで中国と 11 月納入の DAP を契約した。RCF は CFR407 ドル/トンで中国から 1.5~1.8 万トン MAP を輸入した。また、Quantumha は CFR492 ドル/トンで韓国から 2.5 万トン DAP を輸入した。これは今年上半期に契約したものである。
- * ベトナムは国境貿易の形で中国から CFR480 ドル/トンの DAP を輸入した。

尿素関係

- * OCI は FOB297 ドル/トンでカーギルと 0.8~1 万トンの契約、9 月輸送。
- * MOPCO は FOB310 ドル/トンでアメリカの Transammonia 社と 1 万トンの契約、8 月末輸送。また、MOPCO は Transammonia 社に 8 月にすでに 5~5.5 万トン尿素を販売した。
- * Fitco は CFR325 ドル/トンでエジプト産大粒尿素 3 万トンを 9 月に輸出する。また、Yara は CFR330 ドル/トンでカタール産大粒尿素を販売するが、契約に至っていない模様。
- * エジプトの Alexfert 社は FOB310 ドル/トンで 3~3.5 万トンの尿素を契約した。9 月にヨーロッパに輸出する。
- * ネパール AIC 社が 8 月 16 日に 2.5 万トン袋包装尿素の入札を行った。応札価格 (CFR 価格) は、中国産 352~355 ドル/トン、中東産 362 ドル/トン、ウクライナ産 466 ドル/トン。
- * クウェートの PIC 社は FOB295 ドル/トンで 2.5 万トン尿素を契約し、9 月にアルゼンチンに輸出する。
- * インド IPL が 8 月 17 日に尿素入札を行った。CFR308~310 ドル/トンで計 37 万トンを契約した。
- * スイスの商社が中国から FOB240 ドル/トンで 2.2 万トンをナイジェリアに輸出した。
- * クウェート PIC 社が尿素の輸出に力を入れている。8 月に CHS 社と Transammonia 社に 4 万トン大粒尿素を販売した。また、ブラジルに 2.5 万トンを輸出し、タイにも輸出した (数量不明)。一方、CHS 社との間に次年度の契約を締結し、3 ヶ月毎に販売数量を決める。Transammonia 社にも次年度の契約を継続し、10 月に 7 船の尿素を輸出する。

- * バングラデシュは 8 月 30 日に 7.5 万トン、9 月 22 日に 20 万トン尿素の入札を行う予定である。
- * スリランカは 8 月 6 日に 2.4 万トン尿素の入札を行った。

肥料プラント新規建設

その他

* ブラジルのヴァーレ社は肥料事業に力を入れている。買収した Bunge Ltd と Fosfertil を合併させ、新たに設立するヴァーレ肥料 (Vale Fertilizantes) に肥料事業を纏め、ブラジル証券取引所に上場させる計画をしている。ヴァーレはブラジルに 600~700 万トンのりん酸肥料の生産能力を持っている。今年からペルに年間採掘量 390 万トンのりん鉱山とりん酸肥料工場が生産開始、2015 年に 790 万トンまで拡大する予定である。また、ブラジル国営石油との間の契約により 2017 年まで Sergipe 州にある Taquari-Vassouras 加里鉱山の生産権を持っている。

* 8 月 18 日鉱業最大手の BHP ビリトンは世界最大加里肥料生産メーカーのカナダ Potash Corp 社に 1 株 130 ドル、総額 386 億ドルの買収提案を提示した。買収価格は 8 月 13 日終場の株価より 16% 高い。しかし、8 月 23 日 Potash Corp 社の取締役会がその提案を拒否した。Potash Corp 社は世界塩化加里の 20% を産出している。8 月 25 日 BHP ビリトンは 2009 年 6 月~2010 年 5 月の営業業績を発表し、純利益は 127.2 億ドルで、前年度の 58.8 億ドルより倍以上の増加である。BHP ビリトンは手持ちの現金だけで敵対的買収も辞さないと強気である。

* イギリス新聞 FINANCIAL TIMES の報道によると、ロシアは化学肥料会社の M&A の動きが加速される。政府支援を受けて、億万長者の下院議員 Suleiman Kerimov 氏が所有する財団はロシア最大の加里生産会社 Silvinit 社 30~52.4% の株を新たに取得し、ロンドンに上場している Uralkai 社と合併させる計画を立てている。Suleiman Kerimov 氏がすでに Silvinit 社の 25% 株を持ち、同時に Uralkai の最大株主にもなっている。もし、この計画が成功すれば、新会社が年間 1150 万トン塩化加里の生産能力を有し、市場価値が 200 億ドルになる世界第 2 位の加里メーカーとなる。ロシア政府はこの計画を支持している。